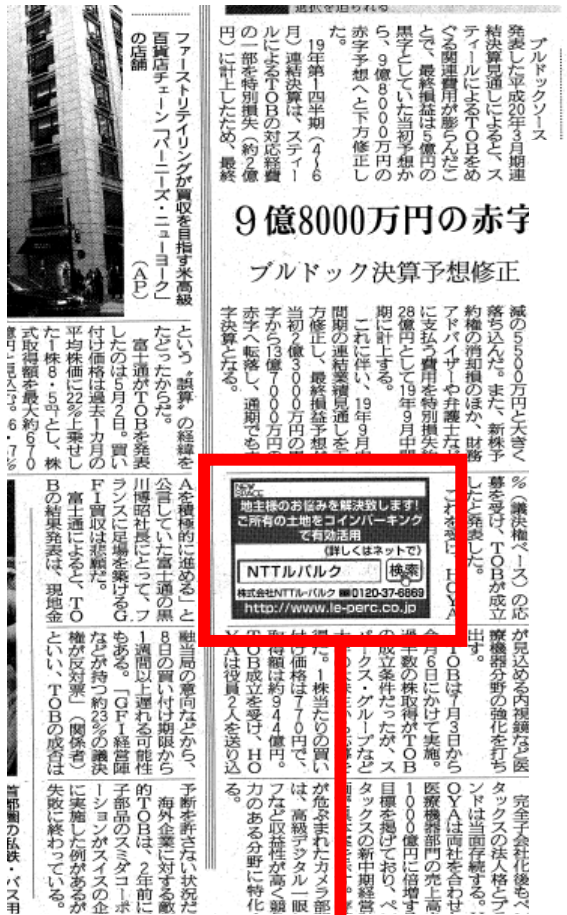
8月～長期間での掲載　SEM対策と連動しての事例

■広告主：NTTルパルク
■業種：駐車場経営
■媒体：産経新聞全国
　　フジサンケイビジネスアイ
■掲載面：経済面
■掲載日：８月～
　　※複数回掲載
■広告会社：セプテーニ


ブルドックソース
発表した平成20年3月期連結決算見通しによると、スティールによるTOBをめぐる関連費用が膨らんだことで、最終損益は5億円の黒字としていた当初予想から、9億8000万円の赤字予想へと下方修正した。
19年第一四半期（4～6月）連結決算は、スティールによるTOBの対応経費の一部を特別損失（約2億円）に計上したため、最終
9億8000万円の赤字
ブルドック決算予想修正
減の5500万円と大きく落ち込んだ。また、新株予約権の消滅損のほか、財務アドバイザーや弁護士などに支払う費用を特別損失として28億円として19年9月中期に計上する。
これに伴い、19年9月中間期の連結業績見通しを下方修正し、最終損益予想を当初2億3000万円の黒字から13億7000万円の赤字へ転落し、通期でも黒字決算となる。
%（議決権ベース）の応募を受け、TOBが成立したと発表した。
これを受け、HOYA
地主様のお悩みを解決致します!
ご所有の土地をコインパーキングで有効活用
（詳しくはネットで）
NTTルパルク 検索
株式会社NTTル・パルク 0120-37-6869
http://www.le-perc.co.jp

日 火曜日
フジサンケイ ビジネスアイ
大手損保6社 7月営業成績
5社が自動車保険減収
東京海上日動火災保険、売が伸び悩んだことが響いた。
三井住友海上と損保ジャパンは、前年同期に金融庁から2週間の業務停止命令を受けていた反動で増収を確保したが、「まだまだ本調子まで回復していない」（三井住友海上）としている。一方で、東京海上日動とニッセイ同和は、大型契約の契約日変更という特殊要因により、5%を超える減収となった。
各社の収入保険料の半分程度を占める自動車保険は東京海上日動を除く5社が減収。7月は新車販売台数（軽自動車除く）が36年ぶりに30万台を割るなど低迷している。
赤字幅の縮小で再生に向け順調に離陸したJALだが、行方には懸念材料も待ち受けている
大手損保6社の7月の営業成績（速報値）

社名	収入保険料	自動車
東京海上日動	1720（▲5.4）	746（0.2）
損保ジャパン	1229（1.8）	565（▲0.6）
三井住友海上	1193（3.5）	464（▲0.1）
あいおい損保	767（▲0.5）	409（▲1.7）
日本興亜損保	601（▲0.2）	283（▲0.9）
ニッセイ同和損保	285（▲0.7）	135（▲0.9）

※収入保険料は連結ベース。カッコ内は前年同月比増減率（%）、▲はマイナス
プロの眼
求められる地域全体への恩恵
融機関に対する社会の目は依然として厳しい
向に導くこともできる。つまり、金融活動を
地主様のお悩みを解決致します!
ご所有の土地をコインパーキングで有効活用
（詳しくはネットで）
NTTルパルク 検索
株式会社NTTル・パルク 0120-37-6869
http://www.le-perc.co.jp
投信ナビ
直近のパフォーマンス
0.09
0.57
0.89
3カ月リターン
6カ月リターン
1年リターン
運用成績
DLIBJ公社債オー
オートバックスセブン
AIGと損保準備会社
6日、米保険大手AIGが35%出資する。オートバックスはすでに損保代理店として車検時
も設立すると発表した。オートバックスが65%。